

第10回山口県総合芸術文化祭

第70回山口県美術展覧会要項

平成28年9月23日（金）～10月10日（月・祝）

山口県立美術館



1 趣旨

「つくる・みる・ささえる」の創造的調和

制作の創造性を高めること（つくる）のみならず、美術作品を鑑賞すること（みる）や美術文化を支えていくこと（ささえる）もまた優れて創造的な行為であるとの意識を育成できるような、総合的な美術文化の普及と振興をはかります。

(1) 「つくる」

自由な意識や現代社会に根ざして制作した作品を幅広く募集し、厳正な審査ののち、優秀なものを展示します。

(2) 「みる」

審査員の視点や考え方を直に体感することのできる公開審査をはじめ、「みる」ことの多様性を体験できるプログラムを開催します。

(3) 「ささえる」

山口県立美術館や地元商店街が軸となって開催している「HEART（美術館まちなか交流事業）」と連携し、地域を基盤に、芸術支援活動を促進するプログラムを展開します。

2 会期および会場など

(1) 会 期 平成28年9月23日（金）～10月10日（月・祝）

休館日 9月26日（月）※10月3日（月）は開館します（ファースト・マンデー）

(2) 会 場 山口県立美術館 〒753-0089 山口市亀山町3-1 TEL：083-925-7788

(3) 開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

(4) 観 覧 料 一般 500 (400) 円 学生 400 (300) 円 （ ）内は20人以上の団体料金

※70歳以上および18歳以下の方、中等教育学校、高等学校、特別支援学校に在学する方等は無料です。

3 審査について

(1)審査員 (50音順)

佐藤時啓 (さとう・ときひろ)

1957年生まれ。写真家、美術家。東京藝術大学美術学部教授。彫刻家を経て写真に転向し、光や時間、空間、身体といったテーマのもと、長時間露光の写真作品、ピンホール写真の作品、カメラ装置にまつわる作品などを制作する。「光のキャラバン」(埼玉県立近代美術館2004年)、「Photo-Respiration: Tokihiro Sato Photographic」(シカゴ美術館2005年)、「佐藤時啓 光-呼吸 そこにいる、そこにはいない」(東京都写真美術館2014年。2015年度 芸術選奨文部科学大臣賞受賞)他、国内外での個展開催およびパブリックコレクション多数。山口では、第20回現代日本彫刻展(宇部市野外彫刻美術館)にて宇部興産賞を受賞(2003年)。また山口情報芸術センターでも作品を制作、展示している(「Camera Obscura Project」2004年、「pin-holes-光の間-」2005年)。山口県美展の審査は3回目。

島敦彦 (しま・あつひこ)

1956年生まれ。愛知県美術館館長。富山県立近代美術館で約12年勤務した後、1992年より国立国際美術館に移る。同館副館長兼学芸課長を経て、2015年4月より現職。主な担当展覧会として、「彫刻の遠心力-この十年の展開」(1992年)「榎倉康二」(1994年)、「内藤礼 みごとに晴れて訪れるを待て」(1995年)、「瀧口修造とその周辺」(1998年)、「安斎重男の眼1970-1999」(2000年)、「小林孝巨」(2000年)、「O JUN」(2002年)、「畠山直哉写真展」(2002年)、「オノデラユキ写真展」(2005年)、「絵画の庭-ゼロ年代日本の地平から」(2010年)、「あなたの肖像-工藤哲巳回顧展」(2013-14年)(以上すべて国立国際美術館)など。近年は舞台やダンス・パフォーマンスにも視野を広げ、日本の現代美術をできるだけ丁寧に見ていこうとしている。山口県美展の審査は2回目。

外館和子 (とだて・かずこ)

1964年生まれ。美術評論家。1988年より2010年まで茨城県近代美術館、茨城県陶芸美術館、茨城県つくば美術館主任学芸員等を歴任し、現在、愛知県立芸術大学・沖縄県立芸術大学・金沢美術工芸大学大学院・京都造形芸術大学・多摩美術大学・名古屋芸術大学・東北芸術工科大学兼任講師(工芸史、陶芸史、作品講評など担当)。またテート・セント・アイブス「Kosho Ito Virus」(2002年)、フランクフルト工芸美術館(2011年)をはじめ、ゲスト・キュレーターとして国内外の美術館、大学等で陶芸、工芸を中心とした展覧会監修、図録執筆、講演などを手掛けている。現在、『陶説』に展評、『陶工房』に「陶芸最前線」、毎日新聞に「工芸の地平から」を連載中。近著に『Fired Earth, Woven Bamboo: Contemporary Japanese Ceramics and Bamboo Art』(ボストン美術館、2013年)、『日本近現代陶芸史』(阿部出版、2016年)。山口県美展の審査は3回目。

(2)審査方法

審査はジャンルを分けることなく、以下の3段階で行います。またすべての審査段階を公開します。

- ①一次審査：入選候補作品を選定
- ②二次審査：入選作品を選定
- ③三次審査：入賞作品を選定

(3)賞

- 大賞 1名(賞状・賞金50万円・次回県美展での展示空間提供と、展示作品の制作費50万円)
優秀賞 5名(賞状・賞金5万円)
佳作賞 (賞状)

4 出品について

以下の出品の条件を満たし、搬入・展示が可能なものであれば、形式・寸法・重量・材質等は問いません。応募点数に制限はありません。

* 作品は慎重に取り扱いますが、搬入から搬出までの間における事故および不慮の災害等による作品の破損、亡失等については責任を負いかねますことを、ご了承ください。

(1)出品の条件

- ①作品は自己の創作したものであること。
- ②作品は審査を伴う公募展で展示されていないものであること。
- ③作品は著作権、肖像権など、他人の権利を侵害しないものであること。
- ④作品は通常の美術館の活動に支障を与えないものであること。
(危険物、動植物、腐蝕の恐れのあるもの等、展示室の環境に影響を及ぼすものは不可)
- ⑤作品には本要項添付の出品票を、裏面右上または事務局が確認できる場所に貼りつけて出品すること。
- ⑥作品の搬入受付後に作品に変更を加えることは、原則として認められません。

(2)出品の留意点

審査の円滑な進行のため、搬入受付時に、事務局で作品を以下の2つのタイプに分類します。

- ・《Aタイプ》：審査に際して、比較的容易に移動が可能な作品
(絵画、写真など、主に壁に掛けて展示する作品)
→【繰出審査】審査員が着席し、その前に作品を繰出して審査します。
- ・《Bタイプ》：大きい、重い、割れやすい、など、審査中の移動が難しい作品
(陶芸、彫刻、インスタレーション、大部の組作品等)
→【据置審査】審査員が移動し、据置された作品を審査します。

(3)事前協議

搬入作業および審査を滞りなく進行させるため、以下の場合は、事務局と事前の協議が必要です。

- ①《Bタイプ》に該当すると想定されるもののうち
 - ・一辺が3mを越える寸法のもの
 - ・重量が200kg以上のもの
 - ・極端にもろい材質のもの
 - ・作者による展示作業が必要な組作品やインスタレーション
- ②映像作品等（特に機器、電源等について）

*協議の上、必要と判断される場合は、作品設置のためのスペースを、あらかじめ用意します。
(事前協議を先に行った出品者を優先します)

上記に該当する場合には、以下の事前協議受付期間内に山口県立美術館までお越しください。

- ①日 時：平成28年7月16日(土)～7月31日(日) 9:00～12:00 13:00～16:30
- ②受付場所：山口県立美術館 総合受付(休館日は通用口にお越しください)
- ③必要なもの：展示プラン(素材、大きさ、展示イメージ図を明記)

(4)出品料

1点につき3000円を出品目録に添えて、搬入日当日に納入して下さい。
組作品は1組につき1点とみなします。受付後の出品料の返却には応じられません。

(5)作品の搬入

- ①日 時：平成28年9月2日(金)～9月4日(日) 9:00～12:00 13:00～16:00
- ②受付場所：山口県立美術館 搬入口(山口市役所側の通用門から入り建物の裏にまわってください)

(6)作品の搬出

全ての作品は以下の日程で返却します。なお搬出は、作品預り証と引き替えに行います。

- ①日 時：平成28年10月14日(金)～10月16日(日) 9:00～12:00 13:00～16:00
- ②受付場所：山口県立美術館 搬入口

(7)搬出入の費用

出品者の負担とします。返送をご希望の場合、荷造りおよび輸送経費は着払いとします。

5 審査の公開について

(1)審査の傍聴

審査会は公開します。また審査会2日目の審査終了後、傍聴者による審査員への質疑応答等の時間を設けます。傍聴をご希望の方は、必ず事前にお申し込みください。お申し込みがない場合、傍聴できません。

①日 時：平成28年9月6日（火） 9:30～17:00
9月7日（水） 9:30～12:00

②会 場：山口県立美術館

③申込方法：山口県立美術館ホームページ（<http://www.yma-web.jp>）の申し込みフォーム、はがき、FAXのいずれかでお申し込みください。出品者以外も、傍聴可能です。

記入事項：傍聴希望日・住所・氏名・電話番号

申込期間：7月1日（金）～9月4日（日）必着

④申し込み・お問い合わせ：

〒753-0089 山口市亀山町3-1 山口県立美術館 県美展事務局

TEL：083-925-7788 FAX：083-925-7790

※ご記入いただいた個人情報は、第70回山口県美術展覧会審査会傍聴に関する業務以外には使用しません。

(2)審査発表

展覧会の開会に合わせて、山口県立美術館ホームページ、新聞、テレビ、ラジオ等で発表します。

なお、出品者には、審査後1週間程度で、郵送にて、審査結果を通知いたします。

6 特別展示

前回の大賞受賞者、深田佳心氏による
新作を展示します。

第69回山口県美術展覧会 大賞受賞作品
深田佳心 「ボクラノユクエ」



7 ワークショップ「自作を語る」

第70回山口県美術展覧会入選者のうち希望者に、展示作品について語っていただきます。

詳細・実施日時は、展覧会開始後山口県立美術館ホームページおよび会場入口の掲示でお知らせします。

8 「HEART（美術館まちなか交流事業）」との連携

山口県美術展覧会の歴代優秀賞以上受賞者の作品紹介・販売などの事業を、山口県立美術館だけでなく、周辺の地域とともに展開します。

9 主催

山口県

10 第70回山口県美術展覧会運営委員（50音順）

岡本 正康	下関市立美術館 主査
倉田 研治	山口県立大学国際文化学部 准教授
白田 豊	画廊主宰
道免 憲司	山口県 観光スポーツ文化部 文化振興課長
中野 良寿	美術家、山口大学教育学部 准教授、N3アトラボ代表
原井 輝明	画家、宇部フロンティア大学短期大学部 准教授
山本 綾香	防府市地域交流センター アスピラート 事業係
若林 英樹	山口県民文化ホールいわくに シンフォニア岩国 館長

11 事務局

山口県美術展覧会実施協議会

〒753-0089 山口市亀山町3-1 山口県立美術館内 TEL：083-925-7788 FAX：083-925-7790

E-mail:a19304@pref.yamaguchi.lg.jp <http://www.yma-web.jp>

郵便でお問い合わせの場合は、往復はがきをご使用になるか返信用封筒を同封してください。

第10回山口県総合芸術文化祭 第70回山口県美術展覧会出品目録

ふりがな 氏名		住所 (連絡先)	(〒 -)
生年月日 (西暦)	年 月 日 (才)	tel:	

記号	番号	題名	備考(素材・技法など)
※ A B	※	よみかた	
※ A B	※	よみかた	
※ A B	※	よみかた	

返却方法

いずれかを○で囲んで下さい

- ・会場受領 10/14 (金)
10/15 (土)
10/16 (日)
- ・事務局手配による輸送 (料金着払)
- ・自分で手配された
画材店等による搬出
(業者名:)

- ・本目録は作品搬入受付時に、出品料を添えて提出してください。
- ・ペンカボールペンを使い、楷書で、太枠の中のみ記入して下さい。※は記入しないで下さい。
- ・氏名は本名を書き、号は()で記入して下さい。住所は出品者本人の住所を記入して下さい。
- ・ご記入いただいた個人情報山口県美術展覧会に関する業務以外には使用しません。

受付	9 /
出品料	円

→右の出品票は、一作品につき一枚、太枠内に記入し、
作品にはがれないように貼って下さい。
(平面作品は裏面右上、それ以外は右下もしくは底部)

※	A	B	※
出品票	題名	氏名	住所

※	A	B	※
出品票	題名	氏名	住所

※	A	B	※
出品票	題名	氏名	住所

作品預り証

様

作品_____点正に受け付けました。

平成28年9月 日

山口県美術展覧会実施協議会

※取扱

※ A B	※
※ A B	※
※ A B	※

- ・作品搬出日時は10月14日～16日の
9:00～12:00 13:00～16:00です。
- ・必ずこの作品預り証をご持参下さい。
- ・搬出日以降も受け取りに来られない作品については、
出品者に断りなく処分させていただくこともあります。